



緋色の研究

著 アーサー・コナン・ドイル・対象レベル B1-B2 (中級-中上級)

読み聞かせオーディオブック・B1-B2

ワトソンがホームズと初めて出会う場面——ロンドンの実験室で二人の見知らぬ男が互いを観察する冒頭シーン——は推理小説ジャンル全体の中で最も読みやすい場面のひとつです。コナン・ドイルは文を明快に保ち、テンポも速く、ワトソンの素直で観察に徹したスタイルは追いやさしい語り手を生み出しています。謎が二つの異なるストーリーラインに分かれており、プロットを追うことが充実した挑戦になります。

練習できること

- 「if」「must have」「cannot be」で表現される演繹的推論
- ヴィクトリア朝ロンドンの語彙 (cab、constable、lodgings、telegram)
- ワトソンの平易な語りとホームズの精密な話し方の対比
- 探偵やヴィクトリア朝の単語はタップしてすぐ意味を確認

無料で読む方法

テキストを目で追いながら、ナレーションをそのまま聴けます。あなたのレベルより難しい単語は音声に合わせてハイライトされ、タップするとすぐに意味が確認できます。登録不要、インストール不要です。

無料で読む →

<https://readingcorner.uk/ja/books/a-study-in-scarlet>